

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760



柴生市長に申し入れ
「高齢者や障害者(児)に
対する負担増の中止と
新たな軽減措置の
創設を求める

6月に入ってから「計算間違いではないか?」「年金が減らされているのに、なんで税金があがるんや」「介護保険料と国民健康保険税が一緒に跳ね上がったって生活が大変や」という疑問や怒り・憤りの声が私(黒田)の所にも直接届けられています。

この4月からは、障害者自立支援法の実施で「工賃より高い作業所利用料(1回510円)の支払いで通所が困難になっている」「施設運営の補助が月額補助か

住民税が 16倍

庶民いじめはやめて!

共産党議員団

緊急申し入れ

から日額補助になり、経営が大変になる」など障害者の方も施設も困難な状況が市内でも起こっています。

介護保険は、昨年10月からの「ホテルコスト(食費・居住費自己負担)導入」や4月からの介護認定の改善、保険料の値上げなど「受けたたいサービスが受けられない」介護に拍車がかかっています。

川西市は、この間「行財政改革SR作戦」で各種福祉金や福祉医療費助成制度、生活保護世帯への一時金を市単独でしてきた施策を廃止しています。

市民を守る立場の自治体として、高齢者や障害者その家族の声を国に届け、増税をやめ、障害者・介護施策の抜本的見直しを強く求めるよう要求、また、国の制度の足りない部分については、市の支援策をつくるよう申し入れました。

7月、市長あてに緊急申し入れ、8月3日(木)総務・企画財政・福祉部長と懇談をしました。

市役所では、高齢者の方からの電話や来庁が相次ぎ、電話が混んでかかりにくいという音声を流す手続きをしたという事、市内で

は、高齢者控除の廃止で約1万2300人、公的年金控除の縮小で約9400人の方に影響があることがわかりました。

「65歳以上の2人世帯266万円の収入だと昨年は非課税だったが今年は3万3000円の課税、しかし、同じ収入で65歳未満の2人世帯では4万4000円、サラリーマン世帯だと4万33000円」国で決めたこと、「制度を存続させるため」という説明の繰り返しでしたが、「平等という言葉を使って同じ税を払うことだけを押しつける考え方はおかしい」「税の納め方は応能負担が原則」「どんだん悪い方にそろえていくのは「住民福祉の増進」が責務の国や自治体の施策としては間違っている」と意見を伝えました。

国の社会保障制度改定はそのための予算削減が目的のため、制度があっても利用できない市民がどんどん増えている問題、弱者から税金をむしり取る増税も、税の集め方と使い方の根本を国民中心にするのか、大企業やアメリカ優先にするのかが問われます。

7月24日(月)能勢電鉄(株)平野本社で「ワンマン運転や無人の自動改札をやめ、乗客の安全を守る」ことや駅のバリアフリー化を進めること、トイレの設置・改修、料金の引き下げなど10項目の要望書を提出、懇談をしました。

能勢電鉄(株)は事業部長をはじめ5名が出席、次長をはじめ5名が出席、約2時間わたって市民の声を届けました。

設置がされましたが、畦野駅はエスカレーターしかありません。私の経験ですが松葉杖でのエスカレーター

「安全については、社を

乗降の恐ろしさを伝え、車いすやバギー使用のためにも、未設置の駅には早急にもエレベーター設置を求めました。

畦野駅では、設置されるまでの間、郵便局側スロープを開放、反対ホームの道路との高低差のない所に改札口設置を要求。

一の鳥居駅では、福祉センターへの乗降駅になっているので、エレベーター設置だけでなく、駅周辺の整備も要求。それまでの間173号線道路とホームの高低差のない所に改札口を要求など、出来る所から市民が利用しやすい工夫を具体的にすすめてほしいと懇談しました。

料金については距離でいくと、「高くない」ということでしたが、通学に使うことでの負担が大きいことを伝え、電車通学する小中学生のこともや高齢者交通費助成が休止にされたことなど、行政の支援も必要だと懇談しました。

正規で採用。バリアフリー化は今後の検討課題である。車いすの方には、職員が対応している。トイレは男女別も含め、駅の改良工事に伴ってしていく。」との回答でした。

駅のバリアフリー化で

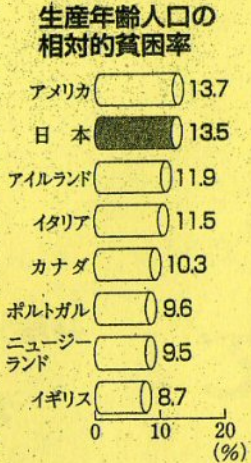
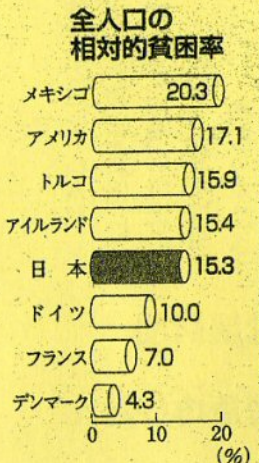
能勢電鉄と懇談



..... ごまめのはぎしり

「思っていること、みんな言うてくれたわ」と、地域で、この間の増税の話しを宣伝し終わるとわざわざお宅から出てきて声をかけてくださいました。

「私は6倍、テレビにいつも怒ってるの」庶民には大增税。大企業には、減税。アメリカには、大判振る舞い。消費税がはじまってからの大企業等の減税分を元に戻すだけで約13兆円になるのだから、庶民へのしわよせや弱い者いじめはやめてほしい。もう、国民をだまさないで!



注) OECD資料から作成。2000年。生産年齢は18～65歳。

熊 てえへんだ、てえへんだ。
 熊 どうしたい。
 熊 なんとかアアが急増しているぞうだ。
 熊 ははあ、「ワキングプア」の話だな。NHKテレビが特集を放送して、話題になっている。
 熊 なんぞい、そのアアというのは。
 熊 「働いてるけど、給料も少ないし、働いても豊かになれない。まあ、働く貧困層」ともいいますか。
 熊 おいらのことがい。
 熊 もっと苦しい。働いているのに、生活保護水準以下の暮らししかできない人たちのことだ。
 熊 そんなに増えるのかい。
 熊 生活保護水準以下で暮らす家庭は、日本の全世帯のおよそ十分の一だといふ。
 熊 そういえば、日本の貧困率はアメリカに次いで世界二位になったというじゃないか。
 熊 そうなんだ。

ワーキングプアって何だ



働けど働けど...

私も驚いたね。OECDというってな、経済協力開発機構という国際機関が加盟国を調べた。そうしたら、日本は全人口の相対的貧困率が五番目だった。これを、生産年齢人口といつて十八歳から六十五歳まで、可処分所得に着目してみた。そうしたら、なんと日本の相対的貧困率は二番目だったというわけだ。
 熊 働く世代で貧困率が高いってことか。で、その「可処分所得」ってのはなんだ。
 熊 所得のうち、税金や社会保障負担などを差し引いた残りの所得のことだ。
 熊 働くことば、税金や社会保障の負担が増えるよ、「可処分所得」ってのが少なくなるってことかな。
 熊 いいとこに気が付いたな。そこに、日本の貧困率が高くなった原因があるってわけだ。
 熊 働く世代で給料が減ったうえに、税金や社会保障の負担の重さ

に苦しんでいる人口が増えてきているってことだ。
 熊 なんだ、なんだ、それって、大企業や小泉政治のせいじゃねえか。
 熊 な、そんなだよ。問題は、大企業は、大もうけを稼ぎ出すため、正社員を減らす、給料は抑える、部品の単価は切り下げる。政府は、これでもかこれでもかと庶民に増税し、福祉を切り捨てる。
 熊 アメリカ型に
 熊 病気を治すのもカネしだい。なんか、だんだんアメリカ型になってきたな。
 熊 経済力が世界で二、二位のアメリカと日本が、貧困率でも一、二位を競いあっているというの、なんとも皮肉な話だ。
 熊 「格差のある社会は活力のある社会」なんて、財界のお偉方がいつてたが、こんでもねえ話だ。おいらたち貧しい者を踏みつけて、一部の大企業や大金持ちが「わが世の春」を謳歌(お

うか)してるだけじゃねえか。
 熊 それ、小泉「改革」が描いてきた弱肉強食の社会ってものだ。「働けど働けど...」といううたが、前にも増して、これほど身にしみる時代が来るとはな。
 熊 「じっと、手をみる」だけじゃ、救われねえや。政治を変えなくちゃ。おいら、黙っちゃいねえよ。来年は二つの大きな選挙があるじゃねえか。
 熊 いいこというね。来春のいっせい地方選挙と来夏の参院選で、きっぱり意思表示しようじゃないか。

しんぶん 赤旗
 日刊●月2,900円
 日曜版●月800円

清流 濁流

小泉政権はまもなく満五年を迎えますが、この五年間の最大の「実績」は、「国の借金」を未曾有の水準に膨張させたことです。
 財務省が発表した昨年末の「国の借金(国債、借入金、政府短期証券の残高合計)は八百三兆円にのぼり、ついに八百兆円の大台を突破しました。年度末にはさらに増えて八百四十八兆円、地方分とあわせると千兆円を超えます。
 このうち、国債は五百三十八兆円を占めています。小泉政権誕生時は三百六十八兆円でしたから、この五年間で実に百七十兆円も借金を増やしたことになるのです。
 同時に、世界でも例のない異常な超低金利政策により、一九九一年一〇〇四年の十三年間に家計から三百四兆円(小泉政権時代だけでも約百五十兆円)も資金を吸い上げ、銀行の不良債権処理や企業の救済に注ぎ込みま

した。
 つまり、小泉「改革」とは、国の借金と家計の収奪によって銀行と企業を助けようとしたのです。
 小泉首相が退陣しても家計の収奪は続きまます。小泉政権が五年間に膨らませた借金のツケがこれから回ってくるからです。
 家計は巨額の利子所得を失ったうえ、こんどは所得税控除の縮小や定率減税の廃止、消費税の大幅増税と公共サービスのカットで小泉「改革」のツケを支払わせられるのです。これは格差と貧困を一段と拡大させます。その裏では予算の無駄遣い、談合や天下りが今なお続いています。
 なぜこんなデタラメな政権が五年間も続いたのでしょうか。その大きな理由は、民主党が小泉首相と国民いじめの「改革」を競い合ったからです。その民主党は「偽メール事件」で自滅してしまいました。今こそ、疑似野党ではない「真の野党」が必要です。
 (沢庵)

小泉5年の「実績」